

LPガスを業務用にお使いになるお客さまへ

知つて
安心 LPガス

業務用周知文書〈LPガス安全管理マニュアル〉



職場の皆さんまで回覧してください。

このパンフレットは液化石油ガス法にもとづき、職場にお届けするものです。

LPガス

人と地球にスマイルを

■店名

兵庫県姫路市香寺町岩部字高砂399の1

有限会社 岩本燃料

TEL (079)232-1220(代)

■住所

■電話

■緊急時
の連絡先

もしもガスがもれたら! 「ガスのニオイに気づいたら」「ガスもれ警報器が鳴ったら」



○ガスもれ時の対応

- 室内の火は全部消してください。またマッチをすったり、タバコなども吸わないでください。
- コンセントの差込やスイッチには触れないでください。着火の原因となります。
(換気扇は絶対に回さないでください。また回っている換気扇はそのままにして、手を触れないでください。)
- ガス栓・器具栓・容器バルブを閉めてください。
- 扉や窓を十分に開け、風通しを良くしてLPガスを追い出してください。

○LPガス保安連絡担当者の選任

3号メータ($3m^3/h$)以上のメータが取り付けられていて、従業員が10名以上のところでは、「LPガス保安連絡担当者」を選任してください。

! 「もしも」のためにお願いします。

- 誘導担当者を決め、非常口などの避難経路を決めておく。
- お客さまにガスもれを知らせて、風上の安全な場所へ避難誘導する。

担当者の役割

- LPガス販売店と連絡を取り合う窓口となります。
- ガスの使用上の注意事項や正しい使用方法を従業員にお知らせします。
- 始業時・終業時にガスマータやガス栓・器具栓のチェックをします。

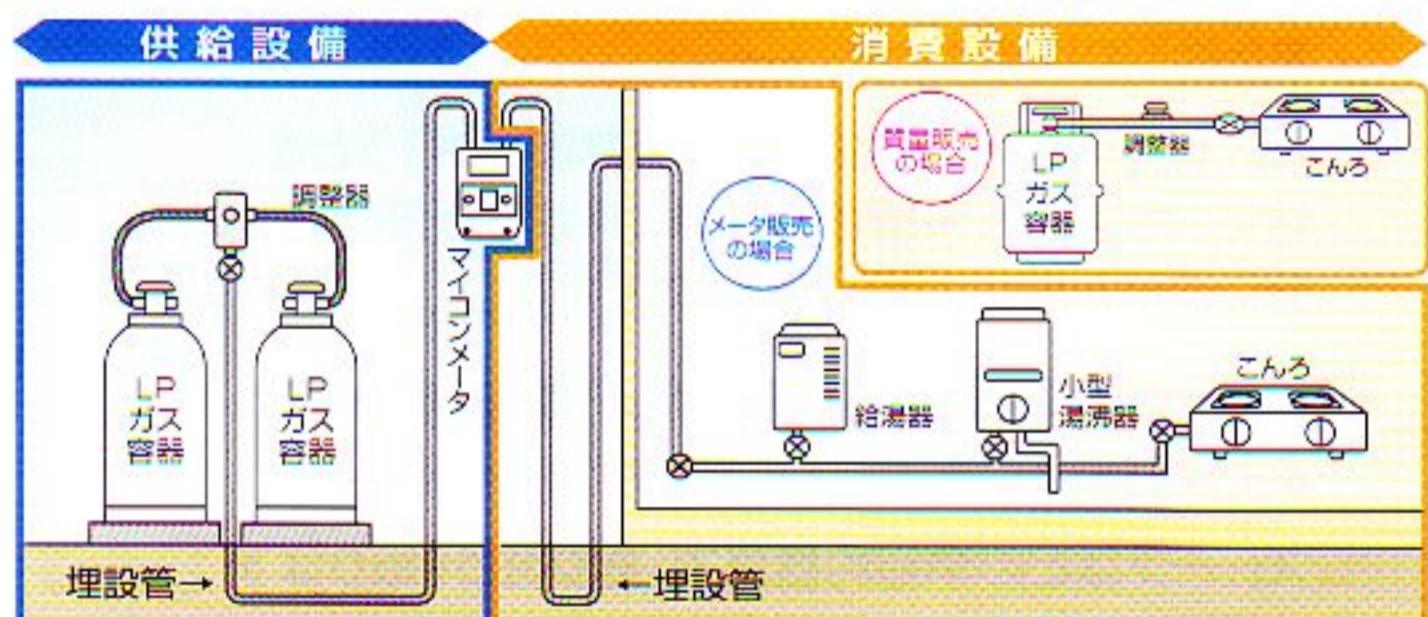
LPガス販売店または保安機関へ連絡し、点検を受けるまでLPガスは使用しないでください。

(連絡先は表紙に記載)

日頃の安全点検は、ご自身の手で行ってください。

- 日頃使用される器具(ガスマータの出口からガス器具まで。メータのない場合は容器からガス器具まで)は、お客さまの責任で安全にご使用ください。
- その他の設備については、容器交換のつどLPガス販売店または販売店から依頼を受けた保安機関が点検を行います。また原則4年に1回以上、お客さまの全ての設備について、点検・調査をさせていただきます。

※点検・調査の結果、改善を指摘された設備については、改善や器具の交換などにご協力ください。



容器バルブの閉め方

災害のときに容器バルブを閉めることは、二次災害の防止にも役立ちます。容器バルブを閉めるときは、時計と同じ右に回すと閉まります。



災害に強い LPガス

地震などの大規模な災害時において、どの被災地においてもライフラインの早期復旧が課題となりました。LPガスは復旧の早さや避難所などすぐに対応できることなどから、多くの人々の暮らしに安心をもたらしました。その実績からさまざまなおこころで、LPガスは「災害に強い」とことが実証されています。

災害時の対策

火災のときは

容器バルブを閉め、消防署員などに容器の位置を知らせ、後の処置を頼んでください。

地震のときは

ガス栓・器具栓を閉め(火をすべて消し)、二次災害防止のため、搖れが大きかったときは、おさました後で戸外の容器バルブを閉めてください。

台風・洪水のときは

容器バルブを閉め、容器が倒れたり流されたりしないか、しっかりと固定されているかを確かめてください。

※異常があった場合は至急、LPガス販売店(連絡先は表紙に記載)または保安機関へ氏名・住所・状況などをお知らせください。

※青いガスを使うときは、必ずLPガス販売店または保安機関の点検を受けてからお使いください。

○埋設管の腐食・損傷に注意!

- LPガスを利用している建物では、ガス管が地中に埋められている場合があり、これを埋設管と呼びます。埋設管が腐食・損傷していると、ガスが漏えいして大事故につながる危険性があります。またガスもれがなくても腐食が進んでいる場合があります。LPガス販売店に相談して速やかに対策を取ってください。

特に雪の多い 地方の対策

●雪囲いや容器小屋の設置

雪で容器が埋まったり、屋根からの落雪で調整器や配管、メータなどがこわれるおそれがあるので、雪囲いや容器小屋を設置してください。なお、雪囲いや容器小屋のまわりは除雪してください。

●排気筒(煙突)の補強

排気筒(煙突)は丈夫な支柱で補強してください。

●雪おろし

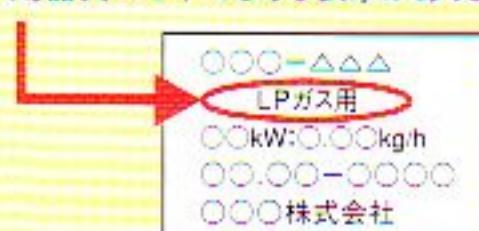
雪おろしの際は、ガス設備に損傷を与えないように十分注意してください。

ガス器具をご使用の際は

- LPガス用器具を必ずご使用ください。都市ガス用器具は使用できません。

新しくガス器具をご使用の際には、LPガス専用の器具であることを確認してください。

※LPガス用器具には下のような表示があります。



製造会社の銘板例

■LPガス用器具は全国共通です。

■ガス器具は、取扱説明書をよく読んでから、正しくご使用ください。

■ガス器具の保証書は大切に保管してください。

LPガスを正しく使って、いつも安心。



- いつもLPガスを安全・快適にお使いいただくために、LPガスおよびガス器具などについて正しいご理解をいただくことが大切です。
- ガス器具の性能、正しい使用方法、お手入れの方法、保管方法などは取扱説明書や警告表示などをご確認の上、正しくご使用くださるようお願いいたします。

点火・消火は必ず目で確かめてください。

- ガス器具の近くに、燃えやすいものは置かないでください。
- 風や煮こぼれで火が消えたり、天ぷらを揚げているときに、鍋の中の油に火が着くことがあります。危険です。ガスを使っていふときは、その場を離れないようにしてください。



※立消え安全装置や過熱防止装置など、安全装置付きのこんろをおすすめします。

換気に注意してください。

- 室内でガス器具を使用するときは、換気扇を回したり、ときどき窓を開けて十分に換気をしてください。

※LPガスが燃えるためには、たくさんの空気を必要とします。換気が十分に行われないと、酸素不足や室内に排ガスが充満して不完全燃焼を起こし、有害な一酸化炭素(CO)を発生するため、たいへん危険ですので、十分な換気をしてください。



- 小型湯沸器は長時間使用しないでください。
- 排気のフィンが埃などで目詰まりしていないか確認してください。

ガス栓は、使用時には全開で、使用後は完全に閉めてください。

- ガスをお使いになるときは、ガス栓を全開で、また終業時には、ガス栓、器具栓が完全に閉まっていることを確認してください。
- 使用していないガス栓には、必ずゴムキャップをつけてください。
- 長期間ご不在になるときは、容器バルブを閉め、LPガス販売店にご連絡ください。
- 配管やガス栓をアースの代わりに使用しないでください。



いつも青い炎でお使いください。

- ガスをご使用の際は、炎は必ず「青い炎」でご使用ください。赤っぽい炎は、不完全燃焼をしている炎です。



酸素过多



酸素不足



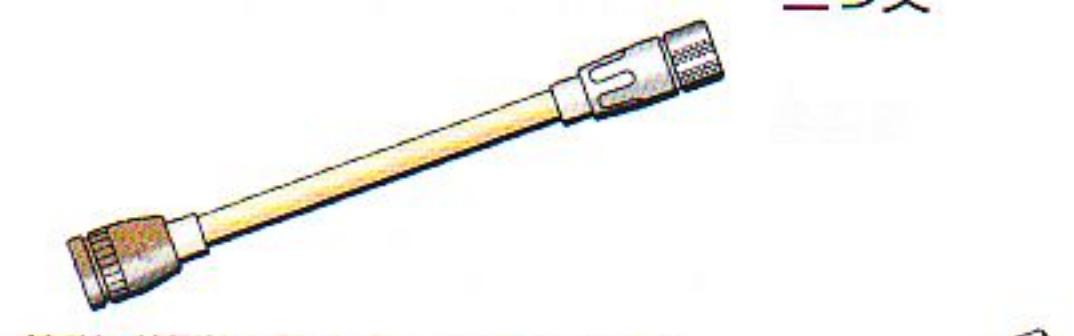
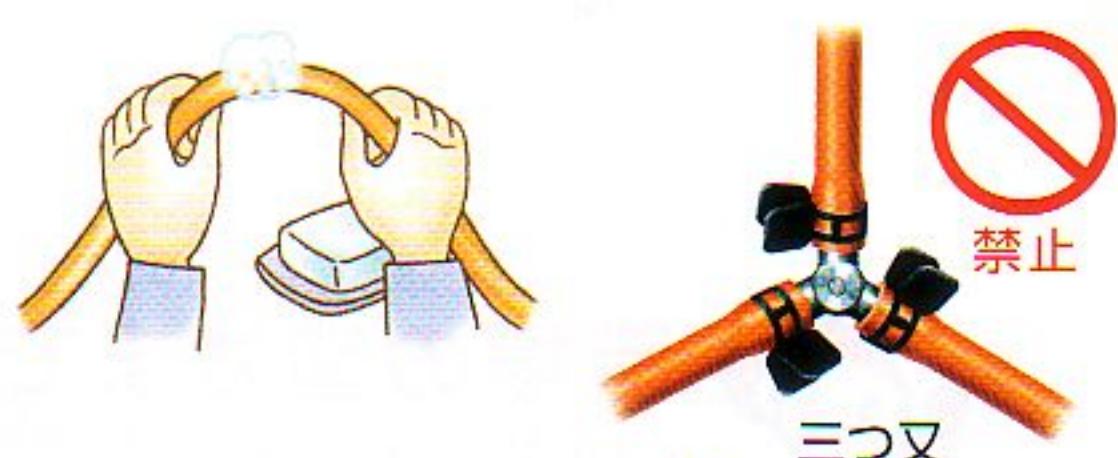
完全燃焼

ゴム管はときどき点検し、早めに交換してください。

- ひび割れなどが発生しているゴム管は使用しないでください。

※ゴム管からのガスもれは、石けん水を塗り泡が出るかで分かります。
(泡が出た場合はすぐに新しいゴム管に取替えてください。)
また点検後はきれいに拭き取ってください。

- ゴム管は、ガス栓の赤い線のところまで差し込んで、ホースバンドでしっかりとめてください。
- ゴム管は長くしたり、物かけを通したり、折り曲げたりしないでください。
- 三つ又は危険なので、絶対に使用しないでください。



着脱が簡単で確実なコンセント型の専用ホースをおすすめします。



ガスもれ防止のため、湯沸器やふろがまなどの固定式燃焼器とガス栓の接続にゴム管を使用することは禁止されています。

直接ねじ接続するか、上のようなねじ接続の専用ホースで接続してください。

LPガスの性質

1 空気よりも重い

LPガスは空気よりも重く、もれると低いところや物かげにたまる性質があります。もしガスがもれたら、特に下方の風通しを良くしてガスを屋外に追い出しましょう。

2 ニオイをつけてある

LPガスそのものは無色無臭ですが、もれたときに分かるようにタマネギが腐ったようなニオイをつけてあります。

燃焼にはたくさんの空気が必要

LPガスが燃焼するためにはたくさんの空気(酸素)が必要です。室内でガスを使用するときは、十分に換気をしてください。

4 液化した状態で容器(ボンベ)に入っている

LPガスは圧力をかけて液化した状態でLPガス容器(ボンベ)に入っています。

5 クリーンなガス

LPガスは、環境負荷が相対的に小さく、クリーンなエネルギーであると位置づけられています。



こんなときはLPガス販売店にご連絡ください。(連絡先は表紙に記載)

- ガス設備の工事や新しくガス器具を取り付けるとき、または取りはずすとき。
- ガス以外の工事(店舗の増改築など)を行うとき。特に、ガス配管系統の変更はLPガス販売店と十分に連絡を取りながら実施してください。
- 新築・改築・転居などで、新しくLPガスを使うとき、またはやめるとき。
- ストーブなどの季節的器具で、取り付け・取りはずしが困難なとき。

※配管、ふろがま、湯沸器、煙突などの工事を行うときは、法律上の資格が必要です。
※ふろがまや湯沸器の中には給気口や排気設備が必要な場合があります。



小型容器の使用上の注意

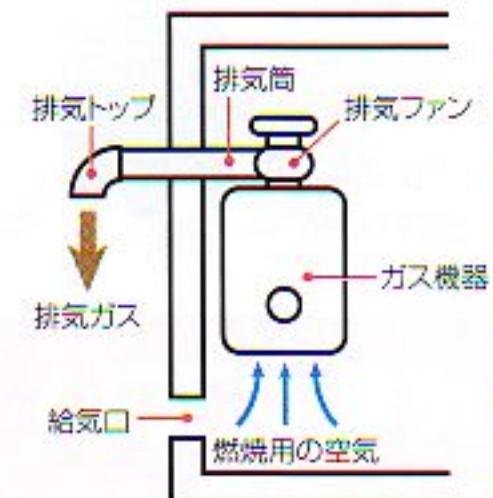
- 容器が倒れないよう、平らな場所に置いてください。
- 容器を横に寝かせて使用しないでください。
- 直射日光や火気を避けてご使用ください。
- 使用後は、必ず容器バルブを閉めてください。
- 容器は、火の気のない風通しの良い屋外に保管してください。
- 不要になった容器は、必ずLPガス販売店に返却してください。

※LPガスが残っている容器を捨てると法律により罰せられます。

半密閉式燃焼機器をご使用の方に

- 半密閉式燃焼機器をご使用の方は必ず排気筒(煙突)と給気口(空気取り入れ口)を設置してください。(右図参照)
- 排気筒(煙突)の中に鳥が巣を作り、排気を妨げる場合があります。そうした心配のある場合には、LPガス販売店に点検を依頼してください。

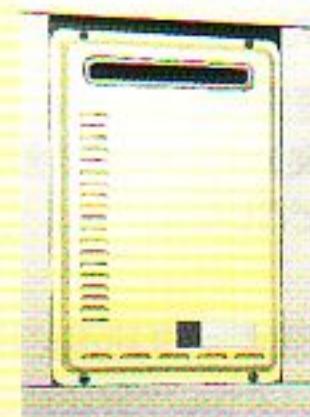
※排気筒(煙突)には、鳥の侵入を防ぐ防鳥網付きのタイプもあります。



一酸化炭素(CO)中毒事故防止に有効なガス機器をおすすめします。

不完全燃焼 防止機能付き 小型湯沸器

換気不足や器具の目づまりなどで、不完全燃焼をはじめるとガスを止めます。



屋外設置式の ふろがま または給湯器

屋外の空気を使って燃焼し、排ガスも屋外に排出するので、不完全燃焼対策に有効です。



一酸化炭素(CO) 警報器

不完全燃焼などで発生した一酸化炭素(CO)を感知し、ブザーや音声で知らせます。